編修趣意書

(教育基本法との対照表)

17 教出	歴史 706	中学社会	会 歴史 未来	そをひらく	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名			
31-25	中学校	社会	歴史的分野	1-3	
受理番号	学校	教 科	種目	学 年	

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標(第2条の第1~第5号)」と、学習指導要領に示された「歴史的分野の目標」を達成し、社会科のねらいである「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する」ことを目ざして、以下の柱と三つの方針に基づき編修しています。

郷土や日本の伝統と文化に対する 愛着を深め、人権尊重や平和を希求する意 思とともに、主権者として**主体的に社会に参** 画し、**持続可能な多文化共生社会**を創造 する態度の育成を図ります。 【学びに向かう力・人間性等】 主権者として共に生きる力 を育むために…

編修の柱

社会のしくみや 課題を読み解き, 学び合うために… 持続可能な社会を 創造する市民の育成

市民的教養としての 基礎・基本を身に つけるために…

'歴史的事象を多面的にと らえるなかで**多様な見方・考え 方**を深めるとともに、各時代の特色

や時代の転換、現代との関わりについて考察し、自分の言葉で表現する 力の育成を図ります。

【思考力・判断力・表現力等】

歴史を**学ぶ"楽しさ"**を

実感しながら、人権尊重の意義 や、個人と社会との関わり、持続可 能な社会のあり方などについて、**確** かな理解とそれを活用する力の育成 を図ります。

【知識・技能】

【編修の趣旨及び留意点】

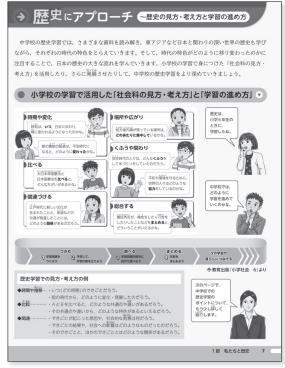
本教科書は、教育基本法第2条に示された教育の目標及び学習指導要領に示された歴史的分野の目標を達成するために、以下の趣旨に基づき編修しています。

◆市民的教養としての基礎・基本が身につく教科書

- ○生徒が、市民社会を共に築いていくうえで必要な知識や技能を、自らの関心・意欲に沿って無理なく習得することや、 その後の学習や社会生活の様々な場面に応じて活用する ことができます。
- ○生徒が、歴史的な見方・考え方を働かせ、他者とのコミュニケーションを通じて、自分の言葉で表現する力を涵養し、社会や歴史についての理解を深め合うことができます。



▲p.57「古代の文化について説明しよう」



▲p.7「歴史にアプローチ」

➡「歴史にアプローチ」では、小学校で活用した「社会科の(社会的な)見方・考え方」を振り返るとともに、歴史学習の中で自覚的に見方・考え方を働かせるための方法を学びます。各章末の「学習のまとめと表現」では、その時代を大観して特色をとらえ、言葉や図に表現する活動に取り組みます。こうした学習を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしています。

◆現代社会のしくみや課題を読み解き、学び合う教科書

- ○生徒が、現代や過去の社会的事象について、資料を 的確に活用しながら、国際的な見地からも多面的・ 多角的に考察し、情報を批判的に読み解いて公正に 判断する力を養うことができます。
- ○生徒が、歴史的な見方・考え方を働かせて学習を進めるなかで、社会や世界をとらえ直し、自己との関わりを考えて、今日的な課題の所在やその解決について探究することができます。
- →例えばp.268 ~ 269の「隣国と向き合うために」では、日本の領土をめぐる今日的課題やその歴史的経緯についても認識を深めます。こうした学習を通して、自国とともに他国も尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うようにしています。



◆主権者として共に生きる力を育む教科書

- ○生徒が、自らも社会を形成していく市民の一人であることへの自覚を高めることができます。
- ○生徒が、責任ある主権者として社会に参画しようとする意思を培い、多文化共生と持続可能な社会の創造を目ざして、社会と関わり続けることができます。
- →「歴史学習の終わりに ~歴史を振り返って、未来 を構想しよう」(p.289 ~ 291) では、これからの 社会を築いていくために、自分たちには何ができる のかを考察・構想します。こうした学習を通して、 公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、 その発展に寄与する態度を養うようにしています。

また,本教科書は,特に以下の点にも留意して,単 元構成や教材の選定を行っています。

- ●社会を動かしてきた先人の働きや、民衆の営み、人々が受け継いできた多様な伝統・文化を主体的に学べる教科書
- ◆本文だけでなく特設など多様な教材を通して、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うようにしています。



▲p.289「歴史学習の終わりに ~歴史を振り返って,未来を構想しよう」



▲巻頭11・22 [私たちにつながる歴史]

2. 対照表

図書の内容・構成と、教育基本法第2条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第2条

- <第1号> 幅広い知識と教養を身に付け,真理を求める態度を養い,豊かな情操と道徳心を培うとともに,健やかな身体を養うこと。
- <第2号> 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び 生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- <第3号> 正義と責任,男女の平等,自他の敬愛と協力を重んずるとともに,公共の精神に基づき,主体的に社会の形成に参画し.その発展に寄与する態度を養うこと。
- <第4号>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- <第5号> 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の 平和と発展に寄与する態度を養うこと。

教科書の単元構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 歴史のとらえ方・調べ方 1節 私たちと歴史 2節 身近な地域の歴史	 ○小学校で学習した人物や文化財を振り返りながら、人類の歴史への関心が高まるように構成しました。〈第1号〉 ○日本の代表的な文化遺産を豊富に掲載し、国宝・重要文化財、世界遺産にマークを付けて紹介することで、伝統文化の意義や継承への理解が深まるようにしました。〈第5号〉 ○「身近な地域の歴史」の学習では、郷土を愛する心を育むとともに、学校外で活動する際に留意すべきマナーも身に付くようにしました。〈第1,3,5号〉 	p.2 ~ 9 p.10 ~ 16
第2章 原始・古代の日本と世界 学習を始めよう 1節 人類の出現と文明のおこり 2節 日本の成り立ちと倭の王権 3節 大帝国の出現と律令国家の形成 4節 貴族社会の発展 学習のまとめと表現	○「中央と地方の誕生」の特設ページなどを通して、歴史の謎を紐解く楽しさを実感できるように工夫しました。〈第1号〉 ○古事記・日本書紀に記された神話を詳しく取り上げ、「黄泉の国の物語」などを通して、古代の人々の信仰やものの見方についてとらえられるように構成しました。〈第5号〉	p.17 ~ 58 p.54 ~ 55
第3章 中世の日本と世界 学習を始めよう 1節 武家政治の始まり 2節 ユーラシアの動きと武家政治 の変化 3節 結びつく民衆と下剋上の社会 学習のまとめと表現	○鎌倉・室町文化について詳しく取り上げ、現在の文化との結びつきについてとらえられるようにしました。〈第5号〉	p.70 ~ 71, 86 ~ 87
第4章 近世の日本と世界 学習を始めよう 1節 結びつく世界との出会い 2節 天下統一への歩み 3節 幕藩体制の確立と鎖国 4節 経済の成長と幕政の改革 学習のまとめと表現	 ○すべての人の権利が守られる差別のない社会を実現していくために、特に 女性やアイヌ民族、沖縄がおかれていた立場について理解が深まるように しました。〈第3号〉 ○桃山・元禄・化政文化について詳しく取り上げ、日本の伝統文化の特徴や、 現在の文化との結びつきについてとらえられるようにしました。〈第5号〉 	p.122 ~ 125 p.112 ~ 113, 130 ~ 131 138 ~ 139
第5章 日本の近代化と国際社会 学習を始めよう 1節 近代世界の確立とアジア 2節 開国と幕府政治の終わり 3節 明治維新と立憲国家への歩み 4節 激動する東アジアと日清・日 露戦争 5節 近代の産業と文化の発展 学習のまとめと表現	 ○坂本龍馬や津田梅子など、幕末から明治にかけての時代の転換期に生きた多様な人物に焦点を当て、そのエピソードなどを通して時代像や個人の生き方について考察が深まるように構成しました。〈第2,3号〉 ○日本の開国から立憲国家の成立、国際的地位の向上までの道程を詳しく取り上げ、日本の近代化の歩みを国際情勢と関わらせてとらえられるようにしました。〈第1,5号〉 ○日本の公害問題の原点といわれる足尾鉱毒事件について取り上げ、環境保全への取り組みの歴史的背景について理解が深まるようにしました。〈第4号〉 	p.166, 182 ~ 185, 197 p.160 ~ 203 p.198 ~ 199
第6章 二度の世界大戦と日本 学習を始めよう 1節 第一次世界大戦と民族独立の 動き 2節 大正デモクラシー 3節 恐慌から戦争へ 4節 第二次世界大戦と日本の敗戦 学習のまとめと表現	 ○後藤新平や杉原干畝など、大戦期に生きた多様な人物に焦点を当て、そのエピソードなどを通して時代像や個人の生き方について考察が深まるように構成しました。〈第2、3号〉 ○大正時代に増加したサラリーマンや女性の社会進出について取り上げ、社会の変化と人々の生活・職業との関わりをとらえられるようにしました。〈第2、3号〉 ○東アジア地域と日本との歴史的交流や軋轢について詳しく取り上げ、これからどのような関係を築き、課題の解決を目ざしていくべきか考察が深まるようにしました。〈第1、5号〉 	p.238 ~ 239 p.224 ~ 225 p.210 ~ 249

第7章 現代の日本と世界 学習を始めよう 1節 日本の民主化と冷戦	○人類の生命と安全への脅威である核兵器の廃絶に取り組む人々や、日本でのオリンピック開催にむけた取り組みを通して、平和を希求することの意義について考察が深まるようにしました。〈第4.5号〉	p.282 ~ 285
2節 世界の多極化と日本 3節 冷戦の終結とこれからの日本 学習のまとめと表現	○日本式点字を開発した人物を紹介するとともに、点字についての理解を促す資料を掲載し、共に生きる社会のあり方について関心が高まるように工夫しました。〈第2、3号〉	p.285
	○日本固有の領土である北方領土や竹島,尖閣諸島をめぐる課題を詳しく取り上げ,対立の現状やその歴史的経緯,平和的解決へのあり方についての認識が深まるようにしました。〈第1,5号〉	p.268 ~ 269
歴史学習の終わりに 〜歴史を振り返って、未来を構想しよう	○これからの社会を築いていくために、社会とどのように関わればよいのか 考察する学習活動を最後に設定し、公民的分野の学習への橋渡しが図られ るように構成しました。〈第3号〉	p.289 ~ 291
	○世界地図の歴史や,郷土の代表的な文化財・旧跡を紹介し,科学的真理の探究や,文化遺産の保全について素養が深まるように工夫しました。〈第1,5号〉	巻末42~6

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

特色1 見やすく,わかりやすい紙面

- *教科書の紙面は,ワイドで見やすい**AB判**を採用し,授業展開や学習の見通しがつかみやすい「1時間=見開き2ページ」で構成しています。
- *興味・関心を高める写真・絵などの資料も豊富に、かつ効果的に配置しています。

特色2 小学校の歴史学習との接続・関連

*第1章では、小学校で学習した**歴史上の人物や文化遺産**を振り返りながら、時代区分や年表の見方を確かめる活動や、身近な地域の歴史を調べる学習の例示などを位置づけ、中学校第1学年へのスムーズな接続が図られるようにしています。

▲p.2「歴史の流れをとらえよう」

特色3 ユニバーサルデザインへの配慮

*色覚等の特性をふまえた、**判読しやすい配色(カラーユニバーサルデザイン)やレイアウト、表現方法、文字(ユニバーサルデザインフォント)などの工夫**により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

特色4 地球となかよし

*教科書の印刷には、環境にやさしい**再生紙と植物油インキ**を使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。また、印刷には**グリーン電力**を使用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表. 配当授業時数表)

17 教出	歴史 706	中学社会	会 歴史 未来	きをひらく
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
31-25	中学校	社会	歷史的分野	1-3
受理番号	学校	教 科	学 年	

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、学習指導要領に示された社会科の目標及び内容、内容の取扱いに準拠しつつ、教科と歴史的 分野の改訂の要点などをふまえて, 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて, 特に以下の点に意を用 いて編修しています。

◆「歴史的分野の改訂の要点」からみた特色

①歴史について考察す る力や説明する力の 育成の重視



- ●社会科の基礎的・基本的な技能の習得を図るために、本文の学習の流れに即 して、歴史資料の読み解きを示唆する「**読み解こう**」や「Q」などの問いを 設け、時代の特色を考察する学習活動を重視しました。写真・絵・地図・グ ラフ・文書などの多様な資料について、具体的な手がかりや問いかけをもと に取り組むなかで、**資料を活用する技能**が身につくように配慮しています。
- ●本文の学習ごとに、学習課題と対応させた「確認」「表現」のコーナーを設 けました。この時間で学習したことをもとに、「確認 | では基礎的事項の確認・ 整理に、「表現」では歴史的事象についての説明や話し合いなどの表現活動に、 段階的に取り組めるように工夫しています。

▶▼p.151「フランス革命」

確認 独立宣言と人権宣言を読んで、共 通する言葉をあげよう。

表現 アメリカ合衆国は、どのような人 たちによって建国されたか、背景 をふまえて説明しよう。



5 フランス革命前の社会(左)と、革命 が目ざす社会(右)を描いた風刺画 3人の人物は、聖職者・貴族・平民を表して

読み解こう ●左の絵で、平民を表しているのは、どの人物 ②石は、何を意味しているのだろう。 3左右の絵を用いて、革命による社会の変化を 説明してみよう。





← 6 バスティーユ 幹嶽の襲撃 1789年、武器をうばったパリの民衆が、政 治犯を収容した牢獄で、 芹散の象徴とされ たパスティースを襲いました。

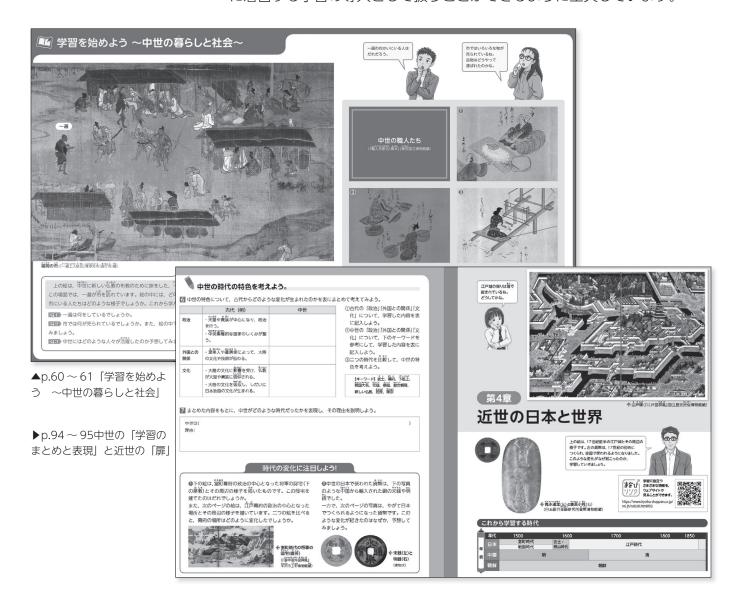
●各章末の「学習のまとめと表現」のページでも、歴史的な見方・考え方を働 かせて、時代の特色を自分なりの言葉で説明する活動を取り入れました。



▲本文中に登場する人物について、小学校で学習した人物にはマークを付けてわかるようにしています。

②歴史学習の構造化と 焦点化

- ●第1章の「歴史の流れをとらえよう」では、**小学校第6学年の歴史学習との接続・関連**を図るために、歴史上の人物などを焦点化して取り上げ、作業活動を通して時代の区分と移り変わりを概観できるように配慮しています。
- ●巻末に掲載した歴史年表は、**原始・古代から現代までを通して一覧**できる見開きの折込で構成し、時代の移り変わりや現在からの時間的な距離をつかみやすいように丁夫しています。
- ●歴史的分野の内容を系統的かつ効果的に学習できるように、全体を7つの章に分けています。節のまとまりや単元の配列を工夫することで、各時代の特色をとらえ、歴史の大きな流れをつかみやすいように構成しています。
- ●各章の扉に続く導入ページの「**学習を始めよう**」では、その時代を象徴するような資料とそれに関わる問いを示し、これから学習する時代(章)を概観するとともに、見通しをもって学習を進められるようにしています。
- ●各章末に設けた「学習のまとめと表現」のページでは、時代の移り変わりを 大観する構造図を掲載するとともに、その時代の特色について考察・表現す る活動の例を示しました。このページは、次の章の扉と合わせ、時代の変化 に着目する学習の導入として扱うことができるように工夫しています。



③日本の歴史の背景と なる世界の歴史の扱 いの充実

- ●各節の単元構成を、基本的に「世界の動き→日本の動き」の順で配列し、時代背景を大局的におさえながら学習できるように配慮しました。
- ●元寇の背景となるユーラシアの変化や、 ヨーロッパ人来航の背景となるムスリム 商人の役割など、**日本の歴史に影響を与 えた世界の歴史**について、内容を拡充し て扱うようにしています。



▲p.72「大陸をまたぐモンゴル帝国」

④主権者育成の観点から、民主政治の来歴 や人権思想の広がり などについての学習 の充実 ●古代ギリシャ・ローマ文明の民主政治の来歴や、近代ヨーロッパでの「市民革命」の中での政治体制の変化や人権思想の発達、現代日本での男女普通選挙の確立や日本国憲法の制定など、各時代の中で現在の政治制度や人権意識につながる事項について、内容を拡充して扱うようにしています。



▲p.182「植木枝盛と中江兆民」

⑤様々な伝統や文化の 学習内容の充実







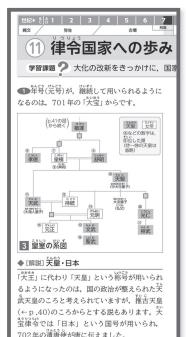
▲教科書中に出てくる文化財の マーク

- ●各時代の文化については、十分なページを充て、それぞれの特色をとらえることのできる資料を豊富に掲載しました。特に**国宝や重要文化財**に指定されている文化財や、世界遺産に登録されている遺跡や景観などについては、わかりやすい「マーク」を付けて紹介し、日本の伝統的な文化とともに、世界の多様な文化についても理解を深めることができるように配慮しています。
- ●「身近な地域の歴史」を調べる学習は、第1章及び各時代に設定し、郷土の伝統・文化への関心を高める着眼点を紹介したり、学び方の手がかりを「地域調査の手引き」として示唆したりするとともに、巻末には、地域の主な遺跡・史跡を一覧できる資料も掲載しました。
- ●様々な伝統や文化のなかでも、**琉球の文化やアイヌの文化**について、各時代の学習の中で内容を拡充して扱うようにしています。

◆「教科書の構成や造本」からみた特色

- ①基礎的・基本的な知 識や技能の確実な習 得を図る構成
- ●本文紙面は、ワイドで見やすい**AB判**を採用し、授業の流れや学習の見通しをつかみやすいように、**1時間の授業を見開き2ページ**で構成しました。左上部に、学習の導入または中心となる資料を配置し、キャラクターの問いから学習を展開していく形式としています。

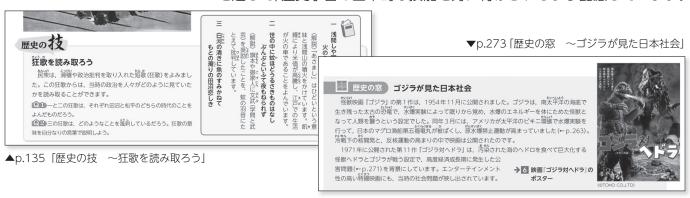
▶p.42 ~ 43 「律令国家への歩み」



▲p.42「タイトルと時代スケール」 「側注と◆解説」



- ●タイトルには、学習内容を象徴的にイメージさせる主題と、学習事項を示す 副題をおき、併せて「**学習課題**」を明示することで、生徒が課題意識をもっ て学習に取り組めるようにしました。
- ●各時間に表示した「**時代スケール**」により、これから学習する時代を視覚的につかめるようにしたほか、小見出しと太字の重要語句から学習のポイントをつかみやすいように工夫しています。
- ●難解な用語や補足説明の必要な箇所には、**側注や「◆解説」による説明**を設け、生徒の理解への一助となるよう配慮しました。本文中には、**資料との関連を示す番号**や、前出・後出箇所との関連を示す**参照ページ**も挿入しています。
- ●本文の学習から興味や関心を広げていくコラム「**歴史の窓**」や,歴史を様々な側面から掘り下げていく**テーマ学習のページ**を設け,個人やグループで学びを深めていくことへの対応も保障しています。
- ●本文の学習の中に「**歴史の技**」コーナーを適宜設け、資料の活用に関わる問いを通じて、歴史学習の基本的な技能を身に付けられるよう配慮しています。



②個人やグループでの 学習活動への対応

③学びを広げ,深める ためのインターネッ トの活用 ●教科書と当社ウェブサイトをリンクさせ、学習に役立つ様々な情報を得ることができる「まなびリンク」を設けました。

●個人でするに治療したり、プロップで理べ学習を進めたりまる際 **まなび**リンク

●個人でさらに追究したり、グループで調べ学習を進めたりする際 の有用な情報の収集などに役立ちます。

2. 対照表

教科書の単元配列	【配当時数】	学習指導要領の内容	該当箇所
第1章 歴史のとらえ方・調べ方	[6]		p.2
1節 私たちと歴史	3	A(1)	p.2 ~ 9
2節 身近な地域の歴史	3	A(2)	p.10 ~ 16
第2章 原始・古代の日本と世界	[20]		p.17
学習を始めよう ~原始・古代の暮らしと社会	1	B(1)	p.18 ~ 19
1節 人類の出現と文明のおこり	5	B(1)	p.20 ~ 29
2節 日本の成り立ちと倭の王権	4	B(1)	p.30 ~ 37
3節 大帝国の出現と律令国家の形成	3	B(1)	p.38 ~ 43
4節 貴族社会の発展 学習のまとめと表現	5 2	B(1) B(1)	p.44 ~ 55 p.56 ~ 58
		D(1)	· .
第3章 中世の日本と世界	[17]	2(0)	p.59
学習を始めよう ~中世の暮らしと社会	1	B(2)	p.60 ~ 61
1節 武家政治の始まり	5	B(2)	p.62 ~ 71
2節 ユーラシアの動きと武家政治の変化 3節 結びつく民衆と下剋上の社会	5 4	B(2)	p.72 ~ 81 p.82 ~ 91
う即 福ひりへ氏派と下地上の社会 学習のまとめと表現	2	B(2) B(2)	p.62 ~ 91 p.92 ~ 94
		5(2)	· .
第4章 近世の日本と世界	[22]	D/2)	p.95
学習を始めよう 〜近世の暮らしと社会	1	B(3)	p.96 ~ 97
1 節 結びつく世界との出会い 2 節 天下統一への歩み	4 3	B(3) B(3)	p.98 ~ 107 p.108 ~ 113
3節 幕藩体制の確立と鎖国	5	B(3)	p.114 ~ 125
4節 経済の成長と幕政の改革	7	B(3)	p.126 ~ 141
学習のまとめと表現	2	B(3)	p.142 ~ 144
	[28]		p.145
学習を始めよう ~近代の暮らしと社会	1	C(1)	p.145 p.146 ~ 147
1節 近代世界の確立とアジア	5	C(1)	p.148 ~ 159
2節 開国と幕府政治の終わり	3	C(1)	p.160 ~ 167
3節 明治維新と立憲国家への歩み	8	C(1)	p.168 ~ 185
4節 激動する東アジアと日清・日露戦争	5	C(1)	p.186 ~ 195
5節 近代の産業と文化の発展	4	C(1)	p.196 ~ 203
学習のまとめと表現	2	C(1)	p.204 ~ 206
第6章 二度の世界大戦と日本	[22]		p.207
学習を始めよう ~大正・昭和初期の暮らしと社会	1	C(1)	p.208 ~ 209
1節 第一次世界大戦と民族独立の動き	5	C(1)	p.210 ~ 219
2節 大正デモクラシー	4	C(1)	p.220 ~ 227
3節 恐慌から戦争へ 4年 5年 7年 8月 7年 7日	5	C(1)	p.228 ~ 239
4節 第二次世界大戦と日本の敗戦 学習のまとめと表現	5 2	C(1)	p.240 ~ 249 p.250 ~ 252
		C(1)	<u>'</u>
第7章 現代の日本と世界	[17]		p.253
学習を始めよう ~現代の暮らしと社会	1	C(2)	p.254 ~ 255
1節 日本の民主化と冷戦	4	C(2)	p.256 ~ 263
2節 世界の多極化と日本 3節 冷戦の終結とこれからの日本	5 5	C(2)	p.264 ~ 275
3即 冷戦の終結とこれからの日本 学習のまとめと表現	2	C(2) C(2)	p.276 ~ 285 p.286 ~ 288
歴史学習の終わりに 〜歴史を振り返って、未来を構想しよう	3	C(2)	p.289 ~ 291
	計135		<u> </u>
巻末資料:江戸時代の産業と交通/昔の国と,都道府県の対照図 ロックスま	6,133		巻末① - ② - ②
歴史年表			巻末2~3 * * 4
世界地図の歴史 各地の主な遺跡・史跡・できごと			巻末4 巻末52~6
ロ心ツエの皮跡・大脚・でごここ			5.VD_0